

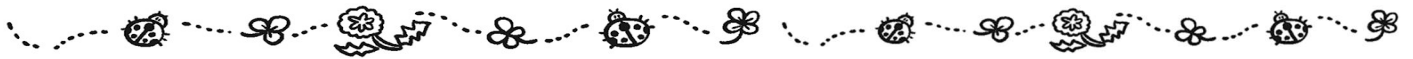


つきぐみつうしん 5月

令和3年5月6日(月)

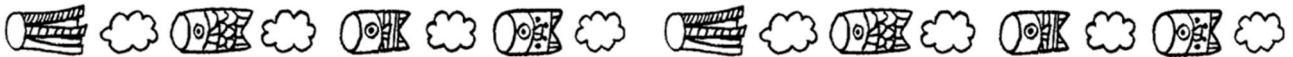
尚徳福祉会 井萩保育園

太陽の光を浴びて新緑の葉が眩しく輝き、戸外でも気持ちよく過ごせるようになってきました。つき組になってからは、異年齢での関わりが多くなってきました。砂場では、新入园児の子どもに声をかけたり、夕方遊びに来てくれるお兄さんお姉さんに「絵本読んで」と声を掛ける姿があります。異年齢で関わりで楽しい経験が積み重なり、つき組になり更に楽しく関わる姿に成長を感じています。



お知らせ

- ・衣類へ記名をお願いします。名前が薄くなっている場合は再度ご記入下さい。
- ・服のサイズをもう一度ご確認ください。



●今月のねらい●

- ・簡単な身の回りの事を保育者と一緒にやってみたり、出来ないときは言葉で知らせる。
- ・保育者や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・春の草花や虫などを見付けたり、集めたりして関心を持つ。

○つき組人気の絵本・紙芝居○

つき組になり「この絵本や紙芝居を読みたい」と言う声が多く聞こえるようになったので、紹介します。

【紙芝居】ごきげんのわるいコックさん

【絵本】・わにさんときっはいしゃさんときっ

- ・おばけのコンサート ・おばけがそろそろ
- ・しろくまのパンツ ・もうぬげない
- ・ふしぎなにじ ・はみがきあそび

「待つ」は大切なキーワード

・園庭でマット遊びをしていたAさんに、そろそろご飯になるのでお部屋に戻ろうと言うと、「いやだいやだ、先生あっち行って。まだ戻りたくない」と泣きました。泣き止み話しかけ、「Aさん、まだ遊びたかったの?」「うん、マットで滑り台したかった」「じゃあ、もう一回滑ってからお部屋に戻る?」「うん、戻る」と、一度滑った後は、スムーズに入室しました。

「魔の2歳児」と呼ばれるこの時期。思い通りにならないと泣き叫んだり等見られます。「自分でこうしたい」という思いが遮られて、かんしゃくを起こしている場合が多く、強い自己主張・意欲を持っている姿だとも言えます。この時期は、「第一次反抗期」とも言われ、「反抗=悪いこと」という受け止め方はしないことが必要です。「こうしたい」という姿を受け止めつつ、乱暴なことはいけないとしっかり伝えることが大切です。「危ないことはいけない」「全て自分の思い通りになるのではなく、少し我慢することも必要」ということを徐々に理解していくのを待つという姿勢を大人が持ち、関わっていきたいです。

